

かずや こんどう 和也

こんどう和也事務所
〒926-0054
石川県七尾市川原町60-2
TEL (0767) 57-5717
FAX (0767) 57-5743

衆議院議員、二期目。
2017年の再出発から
4年間の国政報告です。



国会登院一番乗り 開門時のTV中継(2017年11月1日)

1 コロナ危機を乗り越えるため、党派を超えて。

NHK 中継 予算委員会 菅総理大臣との質疑(2021年2月15日)



地元一次産業の8つの意見を代弁

・地元の一次産業に関わる代表的な8つの意見(米作農家、農業団体、宿泊業、カキ養殖、酪農、加工業、お寿司屋、花の小売)を紹介しました。

・花の生産農家の例で、野菜等と違って補償が収入保険しかない中で、収入保険に入っていない人はどうすべきかと質問。政府としても収入保険の加入率の低さに問題意識を持っているとの答弁があり、結果以下のことが実現できました。



江藤農水大臣との質疑

⇒ 2次補正予算で施設園芸の交付単価の引き上げを実現(10a当たり5万円→花き等80万円、果樹25万円)。

・カキの例で、漁業共済に入っていない人はどうすべきかと質問し、東日本大震災の時の養殖復興支援事業を参考にする具体的な提案をしました。政府からは、何らかの考えるとの答弁でした。

コロナの現状の声を 政府に要望

地元事業者へコロナ関連アンケートを実施



石川3区の事業者を対象に「新型コロナウイルスに関連した経済対策アンケート」調査を、往復はがき、FAX、電話で行いました。(2020年4月に3,042件、2021年5月に8,510件)

自粛期間にコロナ対策の電話相談を実施



同時に、国会事務所で「新型コロナウイルス対策の電話相談」を行い、130人超の方から声を伺いました。

上の事業者へのアンケートや電話相談の意見や要望、課題をもとに、政府への具体的な提案や要望を行いました。結果

として、政府の緊急対策や補正予算などにこれらの多くの提案や要望を取り込んでいただきました。

能登の医療を確保するため要請



加藤厚労大臣との質疑

2020年2月26日には、政府の公立病院の再編統合計画について、地元の議会でも複数の意見書をもとに、実情を踏まえて要請し、地域で議論を深めてほしい旨の答弁を引き出しました。

2 本会議・委員会 | 46 回登壇させていただきました

| | |
|-----------------------|-----|
| 本会議 | 3回 |
| 予算委員会（分科会含む） | 5回 |
| 農林水産委員会 | 26回 |
| 財務金融委員会 | 7回 |
| 外務委員会 | 1回 |
| 災害対策特別委員会 | 3回 |
| 外務・農林水産・経済産業 連合審査会 | 1回 |

ふるさとの代弁者として、農林水産委員会を中心に質疑をさせていただきました。野党の筆頭理事として、鳥獣被害対策、豚熱問題の解決、ため池法案の成立、大和堆の違法操業問題など、一所懸命に取り組んだ4年間です。TV 入りの予算委員会での質疑を含め、質疑内容の質・量とも充実したものであったと思います。



4 若者政策 | 全国アンケートをもとに子育て支援

2020年には、青年局長として、「育休を含む子育て支援に関する意識調査」全国アンケートを実施し、13,563 件の回答をいただきました。これらのご意見を



もとに「育休を含む子育て支援についての提言」をまとめ上げました。子育て支援で最も重要視される点として、妊活から出産までの支援（不妊治療、病院受診女性）が44.5%、出産から義務教育までの支援（出産後手当、保育園整備）が38.9%、義務教育から大学までの支援（教育費無償化・高校・大学の無償化）11.9%、との結果になりました。

若者の政治離れが叫ばれる中、むしろ政治の側から近づいていく必要があると思います。このようなアンケートやネットの活用も含め、様々な手段を通じて皆様の声を伺ってまいります。

5 農林水産政策 | 豚熱 ため池 基本計画

3 大和堆の違法操業問題 | 粘り強く 13 回提案 初めて付帯決議に「違法操業問題」を明記

漁業法改正の付帯決議に、初実績 初めて違法操業問題を盛り込みました。

指摘 農水大臣の所信演説に「違法操業」「日本海」の言葉が一切入っていないと強く指摘しました。

漁業関係者には安心感を。

- ・違法操業外国船への立入検査、拿捕、水産庁の武器携帯について提案しました。
- ・違法漁船が残置した漁具を海上で直ちに漁業取締船が回収することができるようになりました
- ・漁業経営支援で、日中・日韓基金等強化を要望しました。（その後、実現）
- ・収入減対策に、水産加工業者も守るべきと指摘しました。

中国 北朝鮮には緊張感を。

- ・北朝鮮を国際法に遵守させるため、北朝鮮と国交がある160を超える国に対し日本から呼びかけるべきと提案しました。
- ・日中漁業協定に関し、日中漁業共同委員会が動いてい



ないと指摘。協議を行う等、資源の適切な管理と漁業者の安定した操業の確保に向けて粘り強く対応していくとの答弁を引き出しました。

ため池整備促進法を成立させる！

ため池整備促進法案の趣旨説明



ため池の決壊による被害も近年増加している中、2020年度で5カ年の土地改良長期計画の最終年度となり、次年度以降のため池整備をいかに進めていくのが懸念材料となっていました。

・2020年6月9日、法案の筆頭発議者として趣旨説明を行い、6月12日、全会一致で法案が成立しました。これにより、国の予算のみならず地方自治体への財政措置の充実、長期で計画を立てて着実な整備が進むことができます。

超党派農業用ため池対策促進議員協議会



・基本指針を策定の際、「超党派ため池整備促進協議会」の事務局として、基本指針に地元の皆様の想いがより深く反映されるよう提言しました。

石川県のオリジナルの花を胸に、大臣に提言申し入れ



2021年5月10日、地元で購入したエアリーフローラを、大臣をはじめ政務三役、委員の皆さんの胸につけていただき、質疑に臨みました。



江藤農水大臣に提言

2020年3月24日、政府が「食料・農業・農村基本計画」見直しの中、より適切かつ現場の実情を踏まえたものになるよう提言をまとめ、江藤農水大臣に申し入れを実施しました。

6 災害対策 | 豪雪 豪雨など現場対応から立法まで



道路一面の砂や土を掃き集め



家の中に流れ込んだ泥の清掃



ゴミを道路の集積所へ運搬



土嚢を作り、積み上げる作業

この4年間は、さまざまな災害が起きました。

2017年の当選後の冬、石川県は2018年北陸豪雪災害があり、県内では漏水・断水が起り、現地の皆様の声を伺い、豪雪対策に取り組みました。

2018年には西日本豪雨災害が広範囲で被害があり、被災地へボランティアとして支援を行い、現場で汗をかき、また、青年局長として、全国の県連、議員・支援者の関係者とともに、組織としての支援体制を構築しました。

2019年においてもゲリラ豪雨、台風の被害が相次ぎ、被災地によって現場の要望や課題が異なり、しっかりと現場の声を受け止めることが大切でした。

2020年からは、災害ともいえる新型コロナウイルス対策に取り組み、2021年には、災害対策特別委員会の筆頭理事として、災害対策基本法の改正や、いわゆる病院船推進法等を成立させました。



除雪費の追加配分、交付の前倒しを実現

豪雪・断水対策の集会場



漏水が凍結

2018年2月16日 災害対策特別委員会において質問し、除雪費の追加配分、交付の前倒しを実現。

- ・従来の上京して要望する仕組みではなく、被災地に配慮した恒常的な課題解決の仕組みを提案。
- ・地域の高齢化という環境変化によって、豪雪対策が変化して苦しんでいる地域の実情を説明。
- ・空き家の漏水対策のため、法律の柔軟な運用を提案。

除雪業者の固定経費の支援を実現



2/5 豪雪被害対策について農林水産省へ申し入れ

2021年3月18日災害対策特別委員会において国交省に質疑を行い、作業員確保や重機維持など最小限必要となる固定経費を行政が一部負担することを要請。21年、試行されました。

7 地元活動 | 座談会 街頭演説 イベント参加



いつもふれあいトークや街頭演説に参加して頂きありがとうございます。私も地域のイベントに顔を出し皆様とともに走り、喜びをともにさせていただいています。コロナ禍で思うように集まらない日々が続きますが、私たちの心はともにあります。また集まれる日が来れるよう政治の場で、一所懸命、働いてまいります。

主な参加イベント

猿鬼歩こう走ろう健康大会、ごいた誕生150周年記念大会、穴水町駅伝競争大会、能登和倉万葉の里マラソン、千里浜クリーン運動、町野耐寒ロードレース、かほく市「ラン伴」、能登半島珠洲ウルトラマラソン、トライアスロン珠洲記念大会、岷山道トレイルラン、宝浪漫マラソン、中能登トレジャートレイルラン、のとしまトライアスロン大会、ツール・ド・のと400、河北潟一周駅伝競走大会、河北潟クリーン作戦、曾々木海岸清掃、千枚田田植え、中能登町駅伝、ひよっこり能登島ロードレース、他多数。